

# 教育研究業績書

氏名 村上 朋彦

著書・学術論文・演題・学会等の名称	単著 共著 筆頭 共同 の別	発行 発表 所属 年	発行所・発表雑誌等又は発表学会等の名称 巻・号・PP 著者名(共著の場合は雑誌等に記載された順 に記入)
学術論文			
1. 変貌する学生像から生じる問題	共著	1999	リハビリテーション教育研究 4号, PP84-86. 村上朋彦, 江口靖彦, 松村剛志
2. ラット殿筋の筋線維伝導速度の検討	共著	1999	日本私立医科大学理学療法学会誌 17号, PP35-37. 高橋利幸, 西本千奈美, 村上朋彦, 椿原彰夫
3. 21世紀の理学療法教育 私たちの取り組み 専門学校におけるカリキュラム改訂の取り組みと現状	共著	2000	理学療法ジャーナル 34巻12号, PP880-882. 伊藤恭子, 村上朋彦
4. 運動誘発電位を用いた運動学習効果の検討 重量判別課題による検討	共著	2001	川崎医療福祉学会誌 11巻2号, PP375-380. 菅原憲一, 吉田路子, 村上朋彦, 谷岡哲也, 田辺茂雄, 椿原彰夫
5. 連続的な他動運動による関節可動域の改善効果. 新しい連続的な他動運動装置を用いた検討	共著	2003	運動療法と物理療法 14巻3号, PP205-209. 菅野稔, 村上朋彦, 菅原憲一, 田辺茂雄, 近藤正志, 椿原彰夫
6. 頸部角度の違いが咳嗽時最大呼気流速へ及ぼす影響	共著	2013	医療 67巻12号, PP485-488. 垣内優芳, 藤原麻子, 加納康司, 佐々木貴哉, 村上朋彦, 菅野稔, 森明子
7. 講義の主観的な理解度は解説のわかりやすさと資料のわかりにくさに影響を受ける	共著	2015	リハビリテーション教育研究 20号, PP286-287. 田中繁治, 村上朋彦, 松本晋輔, 花崎加音, 矢吹眞弓
8. 本校における講義評価の検討	共著	2015	リハビリテーション教育研究 20号, PP160-161. 菅野稔, 松田英希, 岡田裕, 村上朋彦, 矢吹眞弓
学会発表			
1. 運動誘発電位を用いた運動学習効果の電気生理学的分析	共同	2000	第35回日本理学療法士学会大会 菅原憲一, 村上朋彦, 吉田路子, 椿原彰夫
2. 手関節運動に伴う運動誘発電位の解析: 主動筋・拮抗筋における相反性の検討	共同	2000	第35回日本理学療法士学会大会 吉田路子, 菅原憲一, 村上朋彦, 椿原彰夫
3. 筋収縮の強さが同側筋及び対側筋の運動誘発電位に及ぼす影響	筆頭	2001	第36回日本理学療法士学会大会 村上朋彦, 菅原憲一, 吉田路子, 田辺茂雄, 椿原彰夫
4. 運動誘発電位を用いた主動筋と拮抗筋における興奮性の検討: 手関節背屈・掌屈に関して	共同	2001	第36回日本理学療法士学会大会 吉田路子, 菅原憲一, 田辺茂雄, 村上朋彦, 椿原彰夫
5. 新しい連続的な他動運動装置における関節可動域の改善効果	共同	2001	第36回日本理学療法学会大会 田辺茂雄, 菅原憲一, 村上朋彦, 近藤正志, 椿原彰夫
6. 持続的な他動運動による関節可動域の改善効果	共同	2002	第27回日本運動療法研究会 菅野稔, 村上朋彦, 菅原憲一, 田辺茂雄, 近藤正志, 椿原彰夫
7. 片脚ブリッジにおける非支持側下肢の条件が脊柱起立筋・股関節周囲筋の筋活動に与える影響	共同	2005	第21回中国四国リハビリテーション医学研究会 垣内優芳, 菅野稔, 松本晋輔, 村上朋彦
8. 歩行パターンの違い(前歩き, 横歩き, 交叉横歩き)が中殿筋に与える影響—表面筋電図による検討	共同	2005	第21回中国四国リハビリテーション医学研究会 松本晋輔, 垣内優芳, 菅野稔, 村上朋彦
9. 大腿四頭筋セッティングの筋電図的分析	共同	2007	第42回日本理学療法学会大会 菅野稔, 垣内優芳, 松本晋輔, 村上朋彦
10. 片脚立位時の重心動揺と足部内側縦アーチ高及び母趾把持力との関係	共同	2008	第43回日本理学療法学会大会 松本晋輔, 田中繁治, 菅野稔, 松田英希, 村上朋彦, 山本勲
11. 弾性ゴムバンドによる下肢抵抗運動時の筋活動量—表面筋電図を用いての検討	共同	2008	第43回日本理学療法士学会大会 田中繁治, 山本勲, 鈴木芳, 福島美保, 武藤有加, 村上朋彦
12. 片脚立位における対側下肢の運動が支持側股関節周囲筋に与える影響—表面筋電計を用いた分析	共同	2008	第43回日本理学療法士学会大会 山本勲, 田中繁治, 鈴木芳, 福島美保, 武藤有加, 村上朋彦
13. 『退屈』の感じやすさと学業成績との関連	筆頭	2009	第44回日本理学療法士学会大会 村上朋彦, 田中繁治, 菅野稔
14. 解剖学実習における人骨標本スケッチの有効性について(第1報)学生の感想文の分析から	共同	2010	第45回日本理学療法士学会大会 田中繁治, 村上朋彦

15. 静的足部肢位と足部アーチ可動性の関係について—Foot Posture Index を用いた検討	共同	2012	第 47 回日本理学療法士学会 松本晋輔, 田中繁治, 村上朋彦
16. 頰部角度の違いによる咳嗽時最大呼気流速の変化	共同	2013	第 4 回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 垣内優芳, 藤原麻子, 筈野稔, 村上朋彦
17. Reliability and minimal detectable change of goniometry and inclinometry for measuring ankle dorsiflexion	共同	2013	WCPT-AWP & ACPT Congress 2013 in Taiwan Shinsuke Matsumoto, Shigeharu Tanaka, Tomohiko Murakami
18. 本校における講義評価の検討	共同	2014	全国リハビリテーション学校協会 第 27 回教育研究大会・教員研修会 筈野稔, 松田英希, 岡田裕, 村上朋彦, 矢吹真弓
19. 思考過程の「見える化」を行った教育ツールの使用が学生の認知スキル学習を支援できた教育事例—がん疾患領域の診療参加型臨床実習の取り組み	共同	2023	第 12 回日本理学療法教育学会学術大会 児玉慎吾, 藤田大介, 筈野稔, 村上朋彦, 吉田耕治, 松田翔太, 花山耕三
講師・講演			
1. 血友病患者に対するチームアプローチを考える—患者の立場	単独	2011	第 4 回血友病理学療法研究会学術集会
2. 家でもできるエクササイズ	単独	2015	第 5 回血友病教室(東京大学医科学研究所附属病院)
3. 定期補充療法に至るまで—患者としての経験から	単独	2019	第 2 回晴れの国小児血友病カンファレンス
4. 血友病患者さんへのナラティブアプローチ	共同	2021	Fight in SHIKOKU CHUGOKU
所属学会			
1. 日本理学療法士協会		1998	
2. 岡山県理学療法士会		1998	
3. 中国四国リハビリテーション医学研究会		1998	
4. 血友病理学療法研究会 世話人		2008	